

医学薬学教育部博士課程(生命・臨床医学専攻、東西統合医学専攻)の三つのポリシー 【 博士(医学) 】

<p>大学院の目的 (大学院学則 第2条)</p> <p>本学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とする。</p>	<p>研究科・教育部(専攻)の教育研究上の目的</p> <p>教育部では、医学、看護学及び薬学を総合した特色ある教育と研究を礎とし、幅広い知識を基盤とする高い専門性と人間尊重の精神を基本とする豊かな創造力を培い、学術研究の進歩や社会に積極的に貢献できる総合的な判断力を有する高度医療専門職業人又は教育研究者としての人材を育成することを目的とする。博士課程生命・臨床医学専攻では、各臓器の基礎的研究、障害発症や疾病の原因解明及び治療・予防法に関して総合的に教育研究を行い、さらに、基礎研究と臨床応用の橋渡しとなるトランスレーショナルリサーチの展開を行える人材を育成することを目的とする。博士課程東西統合医学専攻では、西洋医学の最先端の技術を用いた東洋医学の効果と作用機構の解明等の研究を通して、東洋医学と西洋医学の両方の知識を備え世界の医学・医療をリードできる複眼の人材を育成することを目的とする。(富山大学大学院医学薬学教育部規則)</p>
--	--

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>【修了認定・学位授与の方針】</p> <p>修了要件を満たした次の者に、博士(医学)の学位を授与する。</p> <p>1) 基盤的能力: 基盤となる豊かな学識や俯瞰的、大局的視野、</p> <p>2) 専門的学識: 専攻分野における自立した研究者としての研究能力、および高度の専門性を要する職業に必要な卓越した研究能力、</p> <p>3) 倫理観: 研究倫理に関する規範意識、</p> <p>4) 創造力: 自らが新たな知を創造し、その知からさらなる価値を生み出す能力、特に、</p> <p>5) 各臓器の障害や疾病の原因解明及び治療、予防に関する知識や開発能力、</p> <p>6) トランスレーショナルリサーチへの展開能力、</p> <p>7) 西洋医学及び東洋医学の知識とそれを活用した研究を行う能力、を身に付けている者</p>	<p>【教育課程編成方針】</p> <p>学生が所属する研究室における個人指導により医学研究の基礎専門知識と技術を修得させる。また、新規性、学術的重要性、臨床的発展性を含む学位論文の作成と発表を指導する。幅広い医学の基盤的能力、高度な専門的知識、倫理観を修得させるために、幅広い選択科目、学外講師による大学院特別セミナーなどを設置するとともに、研究倫理・研究方法論の受講・修了を義務付ける。また、各臓器の障害や疾病の原因解明及び治療、予防に関する知識、開発能力が身に付く教育課程、トランスレーショナルリサーチへの展開を行える教育課程、西洋医学及び東洋医学の知識とそれを活用した研究を行う能力が身に付く教育課程を編成する。</p> <p>【教育課程実施方針】</p> <p>所属研究室を中心に学生による能動的学修を行う。1-3年次には、幅広い講義科目、実習科目を履修し、医学の基盤的能力、高度な専門的知識、倫理観を修得させる。4年次には学位論文の作成と発表を指導する。</p>	<p>【入学者受入れの方針】</p> <p>・医学・医療の分野における最先端の研究に取り組みたい人材を求める。</p> <p>・医学・医療の教育研究に対する熱意と能力があり、将来の国内外の医療・医学に貢献する意欲のある人材を求める。</p> <p>・他分野の多彩な学問領域において高い基礎学力を身につけ、医学・医療の分野における最新の研究を志す人材を求める。</p> <p>【入学者選抜の基本方針(入試種別とその評価方法)】</p> <p>一般学生の他、外国人留学生等の多様な学生を受け入れるため、4月入学と10月入学を認め、年2回の入学者選抜を実施する。</p> <p>入学者の選抜は、外国語(英語)筆記試験又は外部英語試験のスコアにより、基本的な英語論文読解力を評価し、また、口述試験による専門分野の基盤的知識を評価し、成績証明書の成績、意欲、能力を加えて、総合的に評価する。</p>
<p>【学修成果の到達指標】</p>	<p>【学修内容、学修方法及び学修成果の評価方法】</p>	<p>【求める資質・能力】</p>
<p>基盤的能力</p> <p>【学修成果】</p> <p>研究分野における専門的な情報収集、課題発見と論理的思考、情報発信ができる。英語論文の専門的な読解と解説ができる。研究内容について他者と専門的な議論ができる。</p> <p>【到達指標】</p> <p>幅広い専門領域の中から選択科目を履修し、単位を修得している。研究室や履修科目において、研究分野の知識や論文内容について議論できる能力を身に付けている。専門分野の学会等において、情報収集、議論、情報発信ができる能力を身に付けている。</p> <p>医学薬学教育部で定める修了要件に必要な授業科目をの単位を修得している。</p>	<p>【学修内容】</p> <p>専門分野における知識の修得、課題発見、英語論文の読解と紹介を行う。</p> <p>【学修方法】</p> <p>能動的な学修による情報の収集、研究計画立案、関連論文の収集と読解を学修する。</p> <p>各専攻のカリキュラムの必要な単位数に応じて学修する。</p> <p>【学修成果の評価方法】</p> <p>各授業科目で実施する試験、レポート、プレゼンテーション等により、成績評価基準に基づいて評価する。執筆した学位論文の内容ならびに口頭発表について、学位論文評価基準に基づいて評価する。</p>	<p>【求める資質・能力】</p> <p>研究分野に対する知的興味を持ち、能動的な学修を行い、基本的な英語論文読解力を有し、他者と論理的に基本的な議論をすることができる者</p>
<p>専門的学識</p> <p>【学修成果】</p> <p>自立した研究者として専門分野における研究課題を把握し、その解決方法が提案できる。研究成果を専門分野の論文や学会で発表できる。</p> <p>【到達指標】</p> <p>自立した研究者として専門分野の知識や論文内容について議論できる能力を身に付けている。専門分野の学会等において、専門的な情報収集、議論、情報発信ができる能力を身に付けている。</p>	<p>【学修内容】</p> <p>専門分野における知識の収集、仮説検証のための調査や実験の実施を行う。</p> <p>【学修方法】</p> <p>専門分野科目の履修、研究室での論文の紹介や研究結果の発表、専門学会での研究成果の発表と議論を学修する。</p> <p>【学修成果の評価方法】</p> <p>執筆した学位論文の内容ならびに口頭発表を、学位論文評価基準に基づいて評価する。</p>	<p>【求める資質・能力】</p> <p>能動的に学修し、関連分野の知識や論文内容について議論できる基本的な能力と、専門知識を収集する基本的な能力を有する者。</p> <p>社会及び生命科学に関する倫理と安全に対して高い意識を有する者</p>
<p>倫理観</p> <p>【学修成果】</p> <p>研究不正について説明でき、研究倫理に関する高い規範意識を身に付けている。</p> <p>【到達指標】</p> <p>研究倫理教育科目を履修し、合格している。研究に必要な研修(臨床研究、遺伝子組み換え実験、動物実験、放射線使用実験など)を受講している。</p>	<p>【学修内容】</p> <p>研究不正の事例や研究不正防止方法について学ぶ。</p> <p>【学修方法】</p> <p>研究倫理教育科目を履修する。研究に必要な研修(臨床研究、遺伝子組み換え実験、動物実験、放射線使用実験など)を受講する。</p> <p>【学修成果の評価方法】</p> <p>執筆した学位論文の内容ならびに口頭発表について、学位論文評価基準に基づいて評価する。</p> <p>「研究倫理・研究方法論」の合格を求める。</p>	<p>【求める資質・能力】</p> <p>研究倫理に関する基本的な規範意識を身に付け、プロフェッショナルとしての高い倫理観を志す者</p>
<p>創造力</p> <p>【学修成果】</p> <p>査読のある専門分野の学術雑誌に原著論文を発表できる。専門分野の学会で研究成果発表ができる。自分の研究成果をもとに、次の研究課題の設定と解決方法の考察ができる。</p> <p>【到達指標】</p> <p>学術雑誌に投稿する論文を執筆できる能力を身に付けている。学会等で、議論できる。博士学位論文審査及び最終試験を受け、合格の判定を受けている。</p>	<p>【学修内容】</p> <p>原著論文の作成方法、学会等での発表準備方法を学修する。</p> <p>【学修方法】</p> <p>能動的な学修による原著論文作成、学会発表の準備を行い、実践する。</p> <p>【学修成果の評価方法】</p> <p>執筆した学位論文の内容ならびに口頭発表について、学位論文評価基準に基づいて評価する。</p>	<p>【求める資質・能力】</p> <p>幅広い知的興味と創造性を高く評価し、研究成果をもとに、次の研究課題の設定と解決方法の考察ができる者</p>